

事業所名：グループホーム東光寺

作成日：令和4年 1月 6日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業者と地域とのつきあい	コロナ以前の様に町内の夏祭りに参加したり中学生の職場体験、幼稚園との交流を行いたい。	今後もコロナ禍における地域交流の在り方(動画交流等)を検討すると共に、幼稚園児とのご縁づくりも進めて行く。	12ヶ月
2	11	運営に関する職員意見の反映	現在も定例会や申し送り時に問題点や要望を聞く機会を設けているがスタッフ全員が共通認識としてもてる様にする。	理念にある「敬う心をいつももち、自分らしく安心して暮らすことのできる憩いの場」に繋げていきたいと考えており、職員個々のケアに関する価値観を受容し、最適な妥協点を見出していく。	12ヶ月
3	28	チームでつくる介護計画とモニタリング	コロナ禍により電話での家族への聞き取りが大半をしめていたが家族も含め担当者が中心になり現状に即した介護計画を定期的に作成する。	①今後も「見守り」「一部介助」等の詳細や「介助理由」と共に、「出来そうなこと」「行動障害の真の理由」「解決策」等の課題分析結果を増やしていく。②介護計画2表の中に「御本人」という表現を増やし、アセスメント内容と計画内容が連動するように努めていく。	12ヶ月
4	51	日常的な外出支援	コロナ以前は「莓狩り」「夏祭り」等に参加していたが現在は出来な為、感染対策しながら出来る外出等を行う。	①ご入居者の中には「外に出たい」という希望もあり今後も感染対策を行いながら、敷地内の散歩やドライブの機会を増やしていく。②コロナ収束後は御家族等の協力を頂きながら、外食等を再開する。	12ヶ月
5					ヶ月